

News Release

トヨタテクノクラフト株式会社

ネットカップヴィッツレース車両 生産累計1000台を達成

平成20年5月16日トヨタテクノクラフト株式会社が架装を行う“ネットカップヴィッツレース車両”が生産累計1000台を達成した。

当日は関係者を集めて横浜本社の“TRD Station”にて記念式典が開催された。

本車両は日本初のJAF公認ナンバー付車両によるワンメイクレース“ネットカップ”の参戦車両として2000年に誕生し、初代「ヴィッツ TRD - MSB」は合計744台を生産、現行モデルの「ヴィッツRS TRD Racing」が256台目の生産となり、初代・現行モデルの生産累計が1000台となった。

2008年度も本車両を使用した“ネットカップ ヴィッツレース”やトヨタテクノクラフト(株)が開催するワンメイクラリー“TRDヴィッツチャレンジ”が全国で開催され、合わせて延べ1100人の参加者を見込んでいる。

【車 両】

初 代「ヴィッツ TRD - MSB」(2000~2005年生産)

現 行「ヴィッツRS TRD Racing」(2006年より生産)

(関連HP <http://toyota.jp/customize/vitz/trdracing/index.html>)

車両はトヨタ自動車(株)製造のヴィッツをベースに、トヨタテクノクラフト(株)が架装、(株)トヨタモデリスインターナショナルが全国ネット販売店を通じて販売している。



< 記念式典の様相 >

以上